2027（令和９）年度

一般選抜
学生募集要項



北方キャンパス



ひびきのキャンパス

公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

目　　次

A　試験概要

1　実施日程・募集人員…… 1
2　出願資格…… 2
3　試験教科・科目等…… 2
4　合否判定基準（全学部共通）…… 9

B　出願

1　出願方法…… 9
2　出願期間等…… 10
3　出願書類…… 11
4　出願上の注意…… 12
5　受験票について…… 13
6　出願状況ホームページ掲載…… 13
7　受験及び修学上の配慮について…… 13
8　個別の入学資格審査について…… 13
9　入学検定料の免除について…… 13

C　試験

1　受験上の注意…… 13
2　面接試験上の注意…… 15
3　試験会場、下見日時…… 15

D　試験後

1　合格発表…… 16
2　追加合格…… 16
3　入学手続…… 16
4　入学前教育（地域創生学群）…… 17
5　入学金等納入金一覧…… 17
6　年間授業料…… 17

E　入試における感染防止対策について …… 18

F　その他

1　教育目的…… 19
2　アドミッション・ポリシー…… 20
3　ディプロマ・ポリシー…… 28
4　入試情報の成績開示について…… 31
5　個人情報の取扱いについて…… 32
6　個人用ノートパソコンの必携について…… 32
7　情報イノベーション学部の設置について…… 32

【各種様式】
・志望理由書（地域創生学群用）様式1
・活動・資格等実績申告書（地域創生学群用）様式2

A 試験概要

1　実施日程・募集人員

出願期間		2027年１月25日(月)～２月３日(水)必着					
受験票印刷可能期間		2027年２月17日(水)～３月31日(水)					
試験場		北九州市立大学北方キャンパス					
日程	実施日	学部等	学科等	募集人員	集合時間	試験科目	試験時間
前期日程	2027年 ２月25日 (木)	文学部	比較文化学科	68	９：00 集合	総合問題	９：30～11：10
			人間関係学科	40		小論文	９：30～11：30
		国際環境工学部	環境化学工学科	23（(A方式) 13／(B方式) 10）	９：00 集合	理科 数学	９：30～11：30 13：30～15：30
			機械システム工学科	23			
			建築デザイン学科	27			
			生命工学科	20			
		法学部	法律学科	100	13：00 集合	小論文	13：30～15：00
			政策科学科	40			
		情報イノベーション学部		38	13：00 集合	数学① 又は 数学②	13：30～15：10
	2027年 ２月26日 (金)	外国語学部	英米学科	71	９：00 集合	英語	９：30～11：10
			中国学科	32			
			国際関係学科	42			
		経済学部		120（(外国語)60／(数学)60）	13：00 集合	英語 又は 数学	13：30～15：10
	2027年２月26日(金)	地域創生学群	地域創生学類	40	13：00集合	課題論文	13：30～14：30
	2027年２月27日(土)				26日の試験後通知	集団討論	９：30～
中期日程※	2027年 ３月９日 (火)	情報イノベーション学部		30	９：30 集合	数学	10：00～11：00
後期日程	2027年 ３月12日 (金)	経済学部		20	９：00 集合	小論文	９：30～11：00
		国際環境工学部	環境化学工学科	15	９：00 集合	化学	９：30～11：00
			機械システム工学科	15		小論文	９：30～11：00
			建築デザイン学科	10		面接	９：30～
			生命工学科	10		面接	９：30～
		法学部	法律学科	14	９：00 集合	小論文	９：30～10：30
			政策科学科	10			
	2027年 ３月13日 (土)	文学部	比較文化学科	9	９：00 集合	小論文	９：30～11：00
			人間関係学科	6		集団討論	10：00～
		外国語学部	英米学科	12	12：00 集合	小論文	12：30～14：10
			中国学科	3		面接	12：30～
			国際関係学科	5		面接	12：30～
合格発表	前期日程	2027年３月７日(日)		中期・後期日程	2027年３月20日(土)		
入学手続期間	前期日程	2027年３月９日(火)～３月15日(月)		中期・後期日程	2027年３月23日(火)～３月26日(金)		

※次ページ以降、「中期日程」という。

2　出願資格

次の各号のいずれかに該当し、志望する学部・学科等が指定する2027(令和９)年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

⑴　高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む、以下同じ）を卒業した者又は2027年３月卒業見込みの者

⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年３月修了見込みの者

⑶　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年３月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

⑷　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2027年３月修了見込みの者

⑸　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年３月修了見込みの者

⑹　文部科学大臣の指定した者

⑺　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2027年３月31日までに合格見込みの者で、2027年３月31日までに18歳に達するもの

⑻　本学において、個別の入学資格審査(注)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2027年３月31日までに18歳に達するもの

（注）他大学において入学資格の認定を受け、2027(令和９)年度大学入学共通テストに出願した者で、改めて本学へ出願を希望するものについては、2027年１月８日(金)までに、大学入学資格審査申請書（様式はホームページに掲載）を提出し、本学の入学資格審査を受ける必要があります。詳しくは本要項13ページをご覧ください。
（ホームページ　https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/　に様式掲載）

3　試験教科・科目等

⑴　2027(令和９)年度大学入学共通テストで受験すべき教科・科目

①複数教科・科目から１科目または２科目選択となっている場合は、得点の高い科目順に配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を２科目受験している場合は、それぞれの教科の第１解答科目を配点の対象とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第２解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

また、本要項の大学入学共通テストの配点は、本学入試用配点です。

②大学入学共通テストの外国語（英語）について

全学部、英語にはリスニングを課します。2027（令和９）年度大学入学共通テストの英語を選択した場合の配点（リーディング100点、リスニング100点）を以下のように換算します。

学部・学科等	前期日程			中期日程			後期日程		
	リーディング（100点）	リスニング（100点）	合計（200点）	リーディング（100点）	リスニング（100点）	合計（200点）	リーディング（100点）	リスニング（100点）	合計（200点）
外国語学部　英米学科	150点	150点	300点				50点	50点	100点
外国語学部　中国学科	200点	100点	300点				320点	80点	400点
外国語学部　国際関係学科	160点	40点	200点				320点	80点	400点
経済学部	160点	40点	200点				160点	40点	200点
文学部　比較文化学科	160点	40点	200点				240点	60点	300点
文学部　人間関係学科	160点	40点	200点				160点	40点	200点
法学部	100点	100点	200点				100点	100点	200点
地域創生学群	50点	50点	100点						
国際環境工学部	100点	100点	200点				100点	100点	200点
国際環境工学部　環境化学工学科（B方式）	50点	50点	100点						
情報イノベーション学部	50点	50点	100点	50点	50点	100点			

※大学入試センターにおいて、リスニングを免除された方(聴覚障害のある方等)については、リーディング(筆記)の成績のみを利用し換算します。

⑵　一般選抜の入試教科・科目等

記載中の、「第１解答科目」「第２解答科目」とは、地理歴史及び公民並びに理科を２科目受験している場合に、解答順に、前半に受験した科目が「第１解答科目」、後半に受験した科目が「第２解答科目」です。

【科目名の略称について】

大学入学共通テスト及び教科･科目に係る個別テスト(以下、「個別テスト」という。)の科目名は、以下のように略しています。

地理総合→地総、地理探究→地探、歴史総合→歴総、日本史探究→日探、世界史探究→世探、倫理→倫、
政治・経済→政経、数学Ⅰ→数Ⅰ、数学Ⅱ→数Ⅱ、数学Ⅲ→数Ⅲ、数学Ａ→数Ａ、数学Ｂ→数Ｂ、
数学Ｃ→数Ｃ、物理基礎→物基、化学基礎→化基、生物基礎→生基、地学基礎→地基、物理→物、
化学→化、生物→生、地学→地、英語→英、ドイツ語→独、フランス語→仏、中国語→中、韓国語→韓

外国語学部

学科	日程	募集人員	大学入学共通テスト 指定する教科・科目	大学入学共通テスト 利用配点	個別テスト等 教科	個別テスト等 科目等	個別テスト等 時間	個別テスト等 配点	配点合計	欠員補充方法
英米学科	前期	71	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」） 3教科3科目	200 100 300 (R150 L150) （注3） 計600	外国語	英語 （英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）	100分	400	1000	追加合格
	後期	12	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」） 3教科3科目	100 100 100 (R50 L50) （注3） 計300	小論文		100分	400	700	
中国学科	前期	32	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注2） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」） 3教科3科目	200 100 300 (R200 L100) （注3） 計600	外国語	英語 （英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）	100分	400	1000	
	後期	3	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注2） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」） 3教科3科目	300 200 400 (R320 L80) （注3） 計900	面接		－	200	1100	
国際関係学科	前期	42	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」） 3教科3科目	200 200 200 (R160 L40) （注3） 計600	外国語	英語 （英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）	100分	400	1000	
	後期	5	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」） 3教科3科目	200 200 400 (R320 L80) （注3） 計800	面接		－	200	1000	

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

（注2）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民を2科目受験している場合は、そのうちの第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

（注3）外国語の「英語」の配点は（ ）内のとおりとします。（R：リーディング、L：リスニング）
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

経済学部

学部	日程	募集人員		大学入学共通テスト 指定する教科・科目	利用配点	個別テスト等 教科	科目等	時間	配点	配点合計	欠員補充方法
経済学部	前期	120	60（注1）	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注2） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」）から1（注2） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」）から2（注3） 情報（「情報Ⅰ」）から2（注3） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） **4教科5科目又は5教科5科目**	200 100 200 200（注5） 計700	外国語	英語選択 英語 （英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）	100分	200	900	追加合格
			60（注1）			数学	数学選択 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C）（注4）	100分	200	900	
	後期	20（注1）		地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注2） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」）から1（注2） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」）から2（注3） 情報（「情報Ⅰ」）から2（注3） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） **3教科4科目又は4教科4科目**	100 200 200（注5） 計500	小論文		90分	200	700	

（注1）前期日程は英語選択、数学選択ごとの学部での募集人員となり、後期日程は学部での募集人員となります。
（注2）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
（注3）受験した科目の高得点2科目を配点の対象とします。
（注4）数Bの出題範囲は「数列」、数Cの出題範囲は「ベクトル」とします。
（注5）外国語の「英語」の配点は、リーディング160点、リスニング40点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

文学部

学科	日程	募集人員	大学入学共通テスト 指定する教科・科目	利用配点	個別テスト等 教科	科目等	時間	配点	配点合計	欠員補充方法
比較文化学科	前期	68	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」）から1（注1） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」）から1（注1） 情報（「情報Ⅰ」）から1（注1） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） **3教科3科目**	200 100 200（注2） 計500	総合問題	現代文と英語の理解力、表現力、語彙力を問う	100分	200	700	追加合格
	後期	9	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」）から1（注1） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」）から1（注1） 情報（「情報Ⅰ」）から1（注1） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） **3教科3科目**	100 100 300（注3） 計500	小論文	現代文の理解力、表現力を問う	90分	200	700	
人間関係学科	前期	40	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」）から1（注1） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」）から1（注1） 情報（「情報Ⅰ」）から1（注1）	200 100	小論文		120分	200	700	
	後期	6	外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） **3教科3科目**	200（注2） 計500	集団討論		－	200	700	

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
（注2）外国語の「英語」の配点（比較文化学科　前期日程、人間関係学科　前期・後期日程）は、リーディング160点、リスニング40点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）
（注3）外国語の「英語」の配点（比較文化学科　後期日程）は、リーディング240点、リスニング60点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

法学部

学科	日程	募集人員	大学入学共通テスト 指定する教科・科目	大学入学共通テスト 利用配点	個別テスト等 教科	個別テスト等 科目等	個別テスト等 時間	個別テスト等 配点	配点合計	欠員補充方法
法律学科	前期	100	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）	200 200 200（注2）	小論文	「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う	90分	300	900	追加合格
	後期	14			小論文	法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う	60分	200	800	
政策科学科	前期	40			小論文	「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う	90分	300	900	
	後期	10	3教科3科目	計600	小論文	法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う	60分	200	800	

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
（注2）外国語の「英語」の配点は、リーディング100点、リスニング100点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

地域創生学群

学類	日程	募集人員	大学入学共通テスト 指定する教科・科目	大学入学共通テスト 利用配点	個別テスト等 教科	個別テスト等 科目等	個別テスト等 時間	個別テスト等 配点	配点合計	欠員補充方法
地域創生学類	前期	40	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」） 情報（「情報Ⅰ」） 2教科2科目	100 100（注2） 計200	課題論文 集団討論（注3） 活動・資格等実績申告書 志望理由書（1200字以内） 調査書		60分 －	100 200 100	600	追加合格

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
（注2）外国語の「英語」の配点は、リーディング50点、リスニング50点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）
（注3）集団討論は、グループワークを行うこともあります。

国際環境工学部

学科	日程	募集人員	大学入学共通テスト 指定する教科・科目	大学入学共通テスト 利用配点	個別テスト等 教科	個別テスト等 科目等	個別テスト等 時間	個別テスト等 配点	配点合計	欠員補充方法
環境化学工学科	前期(A方式)	13	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 6教科8科目	100 50 100 100 100 100 200（注2） 25 計775	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注4）	120分	200	1175	追加合格
					理科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	120分	200		
	前期(B方式)	10	数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 3教科4科目	25 25 50 100（注3） 計200	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注4）	120分	200	600	
					理科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	120分	200		
	後期	15	数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物理」） 理科（「生物」）から1 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 4教科6科目	100 100 100 100 200（注2） 25 計625	理科	化学基礎、化学	90分	300	925	
機械システム工学科	前期	23	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 6教科8科目	100 50 100 100 100 100 200（注2） 25 計775	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注4）	120分	200	1175	
					理科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	120分	200		
	後期	15	数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 4教科6科目	100 100 100 100 200（注2） 25 計625	小論文		90分	200	825	
建築デザイン学科	前期	27	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 6教科8科目	100 50 100 100 100 100 200（注2） 25 計775	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注4）	120分	200	1175	
					理科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	120分	200		
	後期	10	数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 4教科6科目	100 100 100 100 200（注2） 25 計625	面接（注5）		－	250	875	

国際環境工学部（続き）

<table>
<tr><th rowspan="2">学　科</th><th rowspan="2">日程</th><th rowspan="2">募集人員</th><th colspan="2">大学入学共通テスト</th><th colspan="4">個別テスト等</th><th rowspan="2">配点合計</th><th rowspan="2">欠員補充方法</th></tr>
<tr><th>指定する教科･科目</th><th>利用配点</th><th>教科</th><th>科目等</th><th>時間</th><th>配点</th></tr>
<tr><td rowspan="2">生命工学科</td><td rowspan="2">前期</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">国語（「国語」）
地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1）
数学（「数Ⅰ、数A」）
数学（「数Ⅱ、数B、数C」）
理科（「物理」）
理科（「化学」）から2
理科（「生物」）
外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）
情報（「情報Ⅰ」）
6教科8科目</td><td>100
50
100
100
200
200（注2）
25
計775</td><td>数学</td><td>数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C（注4）</td><td>120分</td><td>200</td><td rowspan="2">1175</td><td rowspan="2">追加合格</td></tr>
<tr><td>理科</td><td>物理（物理基礎、物理）
化学（化学基礎、化学）
生物（生物基礎、生物）から2科目選択</td><td>120分</td><td>200</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>10</td><td>数学（「数Ⅰ、数A」）
数学（「数Ⅱ、数B、数C」）
理科（「物理」）
理科（「化学」）から1（注6）
理科（「生物」）
外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）
情報（「情報Ⅰ」）
4教科5科目</td><td>100
100
200
200（注2）
25
計625</td><td colspan="2">面接（注5）</td><td>－</td><td>200</td><td>825</td><td></td></tr>
</table>

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
地理歴史及び公民を2科目受験している場合は、そのうちの第1解答科目を配点の対象とします。
（注2）外国語の「英語」の配点は、リーディング100点、リスニング100点とします。
（注3）外国語の「英語」の配点は、リーディング50点、リスニング50点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）
（注4）数Aの出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」、数Bの出題範囲は「数列」、数Cの出題範囲は「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」とします。
（注5）面接では、口頭試問を実施する場合があります。なお、調査書は面接の際の参考とします。
（注6）理科（基礎を付さない科目）を2科目受験している場合は、そのうち第1解答科目を配点の対象とします。

【国際環境工学部 前期日程の第2志望制度について】

国際環境工学部前期日程は、志望の学科のほかに第2志望の学科（国際環境工学部の学科に限る）まで選択することができます。ただし、環境化学工学科（B方式）及び生命工学科を第1志望とする受験生は、第2志望の出願はできません。また、環境化学工学科（B方式）及び生命工学科以外の学科を第1志望とする受験生は、環境化学工学科（B方式）及び生命工学科を第2志望の学科として出願することはできません。

【国際環境工学部の入試過去問題活用宣言への参加について】

2010年度に実施の一般選抜試験から、国際環境工学部は「入試過去問題活用宣言」に参加し、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

対象となるのは、国際環境工学部の次の選抜区分、試験科目です。

■選抜区分:一般選抜　前期日程･後期日程、学校推薦型選抜、総合型選抜

■試験科目:「数学」、「理科」(物理･化学･生物)、「総合問題」

※他の学部･学群は、「入試過去問題活用宣言」に参加しておりません。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。

https://www.nyushikakomon.jp

情報イノベーション学部

学部	日程	募集人員	大学入学共通テスト		個別テスト等				配点合計	欠員補充方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科目等	時間	配点		
情報イノベーション学部	前期	38	国語（「国語」） 数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 理科（「物」「化」「生」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 5教科6科目	100 50 50 50 100（注2） 50 計400	数学①	数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C （数Bの出題範囲は「数列、統計的な推測」、数Cの出題範囲は「ベクトル」とします。）（注3）	100分	200	600	追加合格
					数学②	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C （数Bの出題範囲は「数列」、数Cの出題範囲は「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」とします。）（注3）	100分	200	600	
	中期	30	国語（「国語」） 数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 理科（「物」「化」「生」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 5教科6科目	100 50 50 50 100（注2） 50 計400	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C（注4）	60分	200	600	

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

（注2）外国語の「英語」の配点は、リーディング50点、リスニング50点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

（注3）前期日程は、数学①、数学②の出題範囲からいずれかを選択して解答してください。（試験当日、問題冊子内で数学①または②のいずれかを選択し、選択した範囲の問題のみ解答してください。）いずれの選択においても受験者が不利にならないように十分な配慮をします。

（注4）数Bの出題範囲は「数列」、数Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

4　合否判定基準（全学部共通）

大学入学共通テストの成績と個別テスト等の成績の合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。なお、**大学入学共通テスト及び個別テスト等で大学の指定した教科・科目（大学入学共通テストの英語はリスニングを含む）を受験しなかった者については合格者の対象となりません。**各試験の教科・科目の配点は２～８ページの表に記載のとおりです。

※国際環境工学部（前期日程）の第１・第２志望の取扱い

受験生Ａについて、第１志望Ｘ学科、第２志望Ｙ学科の場合には、受験生ＡがＸ学科に不合格の場合でも、Ｙ学科の合格最低点以上の場合には第２志望Ｙ学科に合格とします。

B 出願

1　出願方法

⑴　事前準備

①　インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等の準備

学校や予備校など自宅外のパソコンからも出願できます。インターネット出願ができる環境が整っていない場合は、事前に北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係（093-964-4022）までご相談ください。

②　プリンターの準備

Ａ４サイズの用紙が印刷できるプリンター（モノクロ、カラーは問いません）が必要です。出願確認票や宛名ラベル、受験票等を印刷する際に必要になります。

③　利用可能なメールアドレスの準備

電子メールアドレスが必要になります。スマートフォン・携帯電話のメールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。本学から、入学試験に関する重要なお知らせ（出願登録確認・入学検定料支払い確認等）を配信します。

④　入学検定料支払い方法の確認

コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM、ネットバンキングでの支払い方法があります。支払い方法は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

⑤　必要書類の準備

調査書、顔写真等の出願に必要な書類等は、発行や作成に時間がかかる場合がありますので、早めに準備をしてください。

⑥　角形２号（角２）封筒の準備

出願書類を提出するため、市販の角形２号（角２）（240mm×332mm）封筒を事前に準備してください。

⑵　出願登録

インターネットによる「出願登録」を行います。

出願登録等の手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

※本学の大学入学共通テストの成績情報の提供方法は「Web方式」です。

令和９年度大学入学共通テスト受験案内の54ページを参考に、本学の出願登録サイトより登録してください。

⑶　入学検定料の支払い

入学検定料17,000円（別途、サービス利用料900円）をお支払いください。

入学検定料の支払い手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

⑷　出願書類の提出

出願登録、入学検定料支払い後、出願書類の提出をしてください。

出願書類の提出方法は、「**２　出願期間等**」、「**３　出願書類**」を確認してください。

■インターネットを利用した出願の流れ



※出願の流れは、各選抜共通の流れです。「⑥出願書類の提出（郵送）」は、提出方法・提出書類の種類が各選抜で異なりますので、それぞれの学生募集要項を必ず確認してください。
※本学ホームページにアクセスしづらい場合は、直接「インターネット出願サイト（https://www.guide.52school.com/guidance/net-kitakyu-u/）にアクセスしてください。
※本学の大学入学共通テスト成績請求情報の提出方法は「Web 方式」です。

2　出願期間等

(1)　出願期間等

出願期間 （出願書類の提出）	2027年１月25日（月）から 2027年２月３日（水）まで（必着）
出願登録・入学検定料支払期間 （インターネット入力等）	2027年１月18日（月）から 2027年２月３日（水）16：00まで

(2)　出願書類の提出方法

出願書類は次の方法で提出してください。なお、提出は、必ず「出願期間」内としてください。出願期間外（出願登録・入学検定料支払期間内の１/18～１/24も含む）は受理できませんのでご注意ください。

必ず「速達・簡易書留」で出願期間内に到着するように出願書類を郵送してください（２月３日（水）必着）。ただし、２月２日（火）以前の発信局（日本国内）消印のある「速達・簡易書留」で郵送されたものに限り、２月４日（木）以降に到着した場合でも受理します。

※出願期間最終日の２月３日（水）のみ、10:00～17:00に下記送付先への持参が可能です。

〈送付先〉
【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群】
〒802-8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号　北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係
【国際環境工学部】
〒808-0135　北九州市若松区ひびきの１番１号　北九州市立大学 学務課入学試験係

3　出願書類

出願登録、入学検定料支払い後、次の書類等を一括して提出してください。出願書類は、必ず下記③宛名ラベルを貼付した角形２号(角２)(240㎜×332㎜)封筒に封入してください。

本学の「前期日程」に出願する者が、本学の「中期日程」「後期日程」にも出願する場合は、日程ごとに出願登録、入学検定料の支払い、出願書類の準備を行う必要があります。出願書類は、日程ごとに別々の封筒に入れて提出してください。提出前に必ず、宛名ラベルのチェック表で出願書類の確認をしてください。

インターネット出願登録内容の印刷	**①出願確認票**	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	②写真票	インターネット出願登録後、印刷したものに、上半身・脱帽・無背景・正面向きで出願前３ヶ月以内に撮影した縦４㎝×横３㎝サイズの写真の裏面に氏名を記入の上、所定欄に貼付してください。アプリ等で加工・修正するなど、本人確認に適さない写真は使用しないでください。
	③宛名ラベル	インターネット出願登録後、印刷したものを角形２号（角２）封筒に貼付してください。
その他必要書類	**④調査書等**	ア　高等学校を卒業した者又は2027年３月卒業見込みの者 ○出身高等学校長において作成厳封した調査書 イ　高等専門学校第３学年修了者又は2027年３月修了見込みの者 専修学校高等課程修了者又は2027年３月修了見込みの者 ○出身学校において、文部科学省の定める調査書に準じて作成厳封したもの ウ　高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定に合格した者を含む） ○合格成績証明書（合格証明書では受理できません。） ○試験免除科目がある場合は、免除要件に係る証明書類（高等学校の調査書又は成績証明書） エ　文部科学大臣が定める、外国の大学入学資格試験（国際バカロレア、バカロレア［フランス共和国］、アビトゥア、GCE－Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア）合格者 ○成績証明書（事前に提出書類をお問い合わせください。） オ　外国において学校教育における12年の課程を修了した者（注）又は2027年３月までに修了見込みの者 ○成績証明書及び修了又は修了見込みであることを証明する書類（事前に提出書類をお問い合わせください。） (注)　外国人学校で文部科学大臣が定めたもの又は文部科学大臣が指定した評価団体が認定した教育施設で12年の課程を修了(又は修了見込み)の者を含む。 ※調査書について、本人に帰責されない身体・健康上の理由による欠席がある場合は、備考欄にその旨を記載してください。 ※上記証明書等が、日本語以外で記載されている場合は、日本語で翻訳したものを添付してください。 ※高等学校における指導要録の保存期間経過及び廃校・被災等の事情により調査書が提出できない場合は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。なお、成績証明書も提出できない場合は、「調査書及び成績証明書が発行できない旨の証明書」を卒業証明書とあわせて提出してください。 ※上記証明書等の氏名が出願書類と異なっている場合は、戸籍抄(謄)本を提出してください。
	⑤志望理由書　様式１	**【地域創生学群のみ】** 所定の様式に志願者本人が志望理由を自筆で記入し、必ず提出してください。
	⑥活動・資格等実績申告書　様式２	**【地域創生学群のみ】** 所定の様式に志願者本人が実績等を自筆で記入し、必ず提出してください。 添付資料はＡ４サイズに統一し、左上クリップどめで提出してください。

※　⑤及び⑥の記入には、**黒のボールペンを使用**してください。鉛筆で記入した書類は、受理せず返却する場合があります。

※　出願書類の作成において、ChatGPTなどの生成AIを使用しないでください。

4　出願上の注意

⑴　国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）志願者は、「前期日程」の大学・学部等から一つ、「後期日程」の大学・学部等から一つ及び「公立大学中期日程」の大学・学部等から一つの合計三つの大学・学部等に出願することができます。したがって、本学の「前期日程」出願者は、本学又は他の国公立大学の「後期日程」及び「公立大学中期日程」にも出願することができます。（※公立大学協会webサイト（https://www.kodaikyo.org/?cat=26)参照。）

⑵　「前期日程」試験に合格し、本学又は他の国公立大学の入学手続を完了した者は、「後期日程」、「公立大学中期日程」の試験を受験しても合格者となりません。

なお、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

⑶　本学学校推薦型選抜及び総合型選抜又は他の国公立大学の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者は、本学及び当該学校推薦型選抜並びに総合型選抜実施の大学の定める入学の辞退を許可された場合を除き、本学一般選抜を受験しても合格者となりません。

⑷　**学部・学科等の指定した大学入学共通テストの教科・科目（英語はリスニングを含む）を受験しているか、必ず本募集要項（２～８ページ）で確認した上で出願してください。出願受付後に各学部・学科等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、個別テストを受験しても合格者となりません。**

⑸　インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願受付完了にはなりません。出願書類を出願期間内に提出（郵送）後、出願受付完了になります。

⑹　入学検定料支払い後は、志望学部・学科等の変更はできません。出願登録内容については、必ず入学検定料支払い前に確認してください。（支払い前であれば、出願者自身で変更できます。）

⑺　出願受付完了後は、いかなる理由があっても出願書類の変更は認められません。

⑻　出願書類に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても合格を取り消します。

⑼　出願書類等に不備がある場合には、受理しません。

⑽　出願書類は下記⑾ア、イを除き返却できません。

⑾　一旦納入した入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き返還はできません。入学検定料の返還を希望する場合は2027年２月19日(金)までにお問い合わせください。

ア　出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合
イ　提出書類の不備等により出願が受理されなかった場合
ウ　提出書類を郵送しなかった場合
エ　入学検定料免除の対象として所定の手続を行った場合（事前申請が間に合わない場合）
オ　誤って二重に入金した場合

⑿　**経済学部前期日程の個別テストは、外国語又は数学のいずれかの教科を、出願の際に選択してください。**

⒀　**国際環境工学部前期日程**は、志望の学科のほかに第２志望の学科（国際環境工学部の学科に限る）まで選択することができます。第２志望を希望する場合は、出願の際に第２志望学科を選択してください。選択されない場合は、第２志望を希望しないものとみなします。詳細は、７ページの【国際環境工学部前期日程の第２志望制度について】をご参照ください。

⒁　出願後に住所変更を行った場合は、必ず入学試験係へ連絡してください。

5　受験票について

⑴　**受験票印刷可能期間　2027年２月17日(水)～2027年３月31日(水)**

⑵　受験票は、印刷可能期間中インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷可能です。Ａ４サイズの用紙に印刷し、二つ折りにしてください。

⑶　試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

⑷　受験票には、メモなどを記入しないでください。記入していることを発見した場合は、不正行為とみなす場合があります。

⑸　受験票は、入学手続及び入試情報の成績開示等に必要ですので、大切に保管しておいてください。

6　出願状況ホームページ掲載

本学ホームページに、学部・学科等別の志願者数の中間発表及び最終発表を掲載します。

7　受験及び修学上の配慮について

障害や疾病などで、受験及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に下記連絡先へ相談の上、2027年１月８日(金)（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

8　個別の入学資格審査について

２ページの出願資格⑻により出願する者は、事前に資格審査を行いますので、事前に下記連絡先へ相談の上、2027年１月８日(金)（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

9　入学検定料の免除について

2027年度入学試験において、令和８年熊本地震で被災された志願者の入学検定料の免除を行います。入学検定料の免除を希望する場合は、出願手続の前に下記連絡先へ相談の上、2027年１月８日（金）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

連絡先
【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群】
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係　TEL 093－964－4022
【国際環境工学部】
北九州市立大学 学務課入学試験係　TEL 093－695－3340
（ホームページアドレス　https://www.kitakyu-u.ac.jp/）

C 試験

1　受験上の注意

⑴　**持参物について**

・**本学受験票**及び**大学入学共通テストの受験票**を必ず持参してください。**(本学受験票は２月17日(水)から印刷可能)**

・筆記用具（鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）を持参してください。

・身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験当日において有効なもの。））を必ず持参してください。必要に応じて提示を求めたり、本人確認のための質問を行ったりする等の対応をとることがあります。

・試験時間中は、スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末・タブレット端末等の通信機器を時計として使用することはできません。また、これらの通信機器は、必ず電源を切り、カバンにしまっておいてください。イヤホンを含め身に付けることはできません。そのほか、電卓・そろばん・電子辞書・定規及びこれに類するものの持ち込みも厳禁です。発見した場合は、不正行為となることがあります。

⑵　所持品の取扱いについて

①受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

・黒鉛筆、鉛筆キャップ（和歌・格言等が印刷されているものは不可。）
・シャープペンシル、シャープペンシルの芯（ケースは不可。）
・プラスチック製の消しゴム
・手動式の鉛筆削り
・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）
・眼鏡、ハンカチ（英文字や地図等がプリントされているものは不可。）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

②試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

・定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

⑶　来場について

・公共交通機関をご利用ください。（自家用車の学内乗り入れは固くお断りします。）
・試験当日は、指定された集合時間までに集合場所（試験室、面接控室等）に集合してください。

※遅刻制限について

遅刻は、試験開始後 20 分までに入室した者に限り認めます。
ただし、面接試験については遅刻を認めません。（15ページ「２　面接試験上の注意」を参照）

※公共交通機関が遅延した場合

定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合には、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、当該公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻・到着時刻等をあらかじめ記録し申告してください。（自家用車の利用による遅延は、この対象となりません。）

⑷　昼食について

・地域創生学群を受験する方は、試験の２日目に必要となる場合があります。必要となる場合は１日目の試験終了時にお知らせします。
・国際環境工学部（前期日程）を受験する方は、各自で用意してください。
・文学部人間関係学科（後期日程）、国際環境工学部建築デザイン学科（後期日程）、国際環境工学部生命工学科（後期日程）を受験する方は、昼食が必要となる場合がありますので、各自で用意してください。

⑸　面接試験の待ち時間について

受験者数によって面接試験の順番が来るまで時間を要する場合がありますので、読書や勉強などで時間を費やすことができるよう準備をお願いします。（ゲーム、スマートフォン、携帯電話及び電子辞書などの電子機器類の使用は禁止します。）

面接試験については、15ページ「２　面接試験上の注意」をご参照ください。

⑹　不正行為について

カンニングなどの不正行為を行った場合には失格とします。また試験中に試験監督者の指示に従わなかった場合は、その試験を０点とする場合があります。必要に応じて追加的な確認を行ったり、警察に被害届を提出したりする場合があります。

⑺　その他

本学では、合否の電報・電話などの受付は一切行っていません。また、学校周辺で合否電報を受け付けていることがありますが、本学とは一切関係ありませんので注意してください。

2　面接試験上の注意

⑴　地域創生学群（前期日程）

① 試験１日目は、13時までに試験室に集合してください。試験１日目は課題論文の試験のみです。
② 試験２日目の集合時間は、試験１日目終了後に通知しますので、その時間までに面接控室に集合してください。集合時間経過後の遅刻は認めません。
③ 面接試験は集団討論を行います。グループワークを行うこともあります。
④ 控室入室後は、控室から出ることができません。

⑵　外国語学部中国学科（後期日程）

① 試験当日は、12時に面接控室に集合してください。面接要領についての説明を行います。12時30分を過ぎての遅刻は認めません。
② 面接試験は、個人面接を行います。
③ 控室入室後は、面接試験開始までは控室から出ることはできません。また面接試験終了後の控室への再入室も認めません。

⑶　外国語学部国際関係学科（後期日程）

① 試験当日は、12時に面接控室に集合してください。面接要領についての説明を行います。12時30分を過ぎての遅刻は認めません。
② 面接試験は、個人面接を行います。
③ 控室入室後は、面接試験開始までは控室から出ることはできません。また面接試験終了後の控室への再入室も認めません。

⑷　文学部人間関係学科（後期日程）

① 試験当日は、９時に面接控室に集合してください。面接要領についての説明を行います。９時30分を過ぎての遅刻は認めません。
② 面接試験は、集団討論を行います。
③ 控室入室後は、面接試験開始までは控室から出ることはできません。また面接試験終了後の控室への再入室も認めません。

⑸　国際環境工学部建築デザイン学科（後期日程）

① 試験当日は、９時に面接控室に集合してください。９時30分を過ぎての遅刻は認めません。
出欠確認後、面接要領を含め、当日の進行についての説明を行います。
② 面接試験は、個人面接を行います。（口頭試問を実施する場合があります）
③ 控室入室後は、面接試験開始までは控室から出ることができません。また指示がある場合を除き、面接試験終了後の控室への再入室も認めません。

⑹　国際環境工学部生命工学科（後期日程）

① 試験当日は、９時に面接控室に集合してください。９時30分を過ぎての遅刻は認めません。
出欠確認後、面接要領を含め、当日の進行についての説明を行います。
② 面接試験は、個人面接を行います。（口頭試問を実施する場合があります）
③ 控室入室後は、面接試験開始までは控室から出ることができません。また指示がある場合を除き、面接試験終了後の控室への再入室も認めません。

3　試験会場、下見日時

⑴　試験場（裏表紙の案内図参照）

北九州市立大学北方キャンパス
［北九州市小倉南区北方四丁目２番１号］
※国際環境工学部も北方キャンパスで試験を実施します。

⑵　下見時間

下見では建物内に入ることはできません。建物の位置や入口、試験室番号等の確認をしてください。

前期日程：	（文学部、法学部、国際環境工学部、情報イノベーション学部）	2月24日（水）13：00～17：00
	（外国語学部、経済学部、地域創生学群）	2月25日（木）17：00～18：00
中期日程：	（情報イノベーション学部）	3月８日（月）13：00～17：00
後期日程：	（経済学部、法学部、国際環境工学部）	3月11日（木）13：00～17：00
	（外国語学部、文学部）	3月12日（金）17：00～18：00

⑶ **主要交通機関**

北九州モノレール利用

JR「小倉」 駅(乗り換え)⇒モノレール「小倉」駅乗車 ⇒(乗車時間約10分)⇒モノレール「競馬場前(北九州市立大学前)」駅下車 ⇒(徒歩約３分)⇒北九州市立大学北方キャンパス試験場

D 試験後

1 合格発表

⑴ **前期日程合格発表** **2027年３月７日（日）10時頃**

⑵ **中期・後期日程合格発表** **2027年３月20日（土）10時頃**

⑶ **合格発表方法**

① ホームページ　合格発表日の10時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。
ホームページアドレス　https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/

② 合格通知　合格者には、発表日当日に「合格通知書」を簡易書留で発送します。未着の場合、郵便局の不在票を確認してください。

※合否に関することや、受験番号の問い合わせには一切応じません。

※学内掲示は行いません。

2 追加合格

⑴ 入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、追加合格を行うことがあります。

⑵ 追加合格の実施の有無については、**３月28日(日) ９時までに本学のホームページに掲載します。**

⑶ 追加合格については、合格発表及び通知は行わず、**３月28日(日) ９時から17時までの間に、「出願確認票」記載の連絡先へ、電話連絡をします。（※追加合格者が17時までに決まらない場合は、３月29日以降も電話連絡をします。）なお、連絡開始後、２時間以内に直接本人からの意思確認が必要です。連絡が取れない場合及び本人の意思確認ができない場合は、入学の意思がないものと判断します**ので、ご理解の上ご対応ください。

⑷ 追加合格者は、３月28日(日)～３月31日(水)の期間に入学手続（入学金の納入、必要書類の提出等）を完了してください。期間内の手続完了者のみ入学を許可します。また、いかなる理由があっても入学手続期間の延長及び納入した入学金の返還はできません。

⑸ 入学手続には、**本学「受験票」及び共通テスト出願サイトから取得した「国公立大学入学確認票」の両方が必要です。**「受験票」は大切に保管しておいてください。「国公立大学入学確認票」は、令和９年度大学入学共通テスト受験案内の58ページ及び大学入試センターが共通テスト出願サイトで公開している「志願者向け操作マニュアル」をよく読んで発行してください。誤って発行した場合は、本学と大学入試センターへ連絡してください。なお、合格通知書は入学手続の際に交付します。

3 入学手続

⑴ **入学手続期間**

前期日程合格者	**2027年３月９日(火)～３月15日(月)17:00必着**
中期・後期日程合格者	**2027年３月23日(火)～３月26日(金)17:00必着**

⑵ 入学手続に関する詳細については、「合格通知書」送付の際にお知らせします。主な必要書類は、住所カード、授業料口座振替依頼書、学生証用写真（縦４㎝×横３㎝、２枚）等です。

⑶ **入学手続には、本学「受験票」及び共通テスト出願サイトから取得した「国公立大学入学確認票」の両方が必要です。**「受験票」は大切に保管しておいてください。「国公立大学入学確認票」は、令和９年度大学入学共通テスト受験案内の58ページ及び大学入試センターが共通テスト出願サイトで公開している「志願者向け操作マニュアル」をよく読んで発行してください。誤って発行した場合は、本学と大学入試センターへ連絡してください。

⑷ **一つの国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）に入学手続を行った場合、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。**
（※公立大学協会webサイト（https://www.kodaikyo.org/?cat=26)参照。）

⑸ **入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。**

⑹　期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。
⑺　一旦納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。なお、高等教育の修学支援新制度に係る入学金の取扱いについては、18ページを確認してください。

4　入学前教育（地域創生学群）

一般選抜合格者（入学予定者）には、入学前の教育プログラムを課します。なお、詳細については合格通知書送付の際に通知します。

5　入学金等納入金一覧（現行の金額です。変更となる場合があります。）

⑴　入学金

（単位:円）

区分＼学部等		外国語学部	経済学部	文学部	法学部	地域創生学群	国際環境工学部	情報イノベーション学部
入学金	北九州市内居住者	282,000	282,000	282,000	282,000	282,000	282,000	282,000
	上記以外の者	423,000	423,000	423,000	423,000	423,000	423,000	423,000

⑵　保険料及び諸会費

（単位:円）

区分＼学部等			外国語学部	経済学部	文学部	法学部	地域創生学群	国際環境工学部	情報イノベーション学部
保険料	学生教育研究災害傷害保険（学研災）		3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	学研災付帯賠償責任保険（学研賠）		1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360
諸会費	後援会費		50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	同窓会費	入会金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	学会費		10,000	10,000	－	10,000	10,000	－	－
	学友会費		26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600
合計			**141,260**	**141,260**	**131,260**	**141,260**	**141,260**	**131,260**	**131,260**

備考1　北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者若しくは２親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいい、それを証明する書類（市民税納税証明書、納税義務者の住民票、入学者と納税義務者の続柄がわかる書類など）が必要となります。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）」であるためには、2026年１月１日現在北九州市に在住していることが必要です。

2　保険料及び諸会費の金額はいずれも一括納入額です。保険料、学会費、学友会費は４ヵ年分。後援会費は在籍期間中における会費、同窓会費は終身会費です。

諸会費については、入学の必須条件ではありません。

3　本学では、学生の教育研究活動中の事故によるケガ等に備えて、全学生に「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」及び「学研災付帯賠償責任保険(学研賠)」に加入をしていただき、万が一の場合に、学生の負担軽減を図ることとしています。この保険は、教育実習やインターンシップに参加する際に必要な保険となっています。

※　【参考】学研災付帯賠償責任保険(学研賠)：正課（特に、実験・実習等）、学校行事、課外活動及びその往復中の賠償責任事故が対象。

6　年間授業料（現行の金額・納入方法です。変更となる場合があります。）

学部等	年間授業料	納入回数		納入方法
		（第１期）	（第２期）	
全学部・学群	**535,800円**	**267,900円**	**267,900円**	口座振替による、年間２期の分割納入です。 入学手続時に口座振替依頼書を提出していただきます。

※在学中に授業料の改定及び納入方法等の改定が行われた場合、改定時から適用されることとなります。

【高等教育の修学支援新制度について】

本学は「大学等における修学の支援に関する法律」において要件の確認を受けています。
支援内容は、日本学生支援機構の給付型奨学金支給及び授業料・入学金の減免です。
大学における手続は、合格後に発送する入学の手引及び入学後のオリエンテーション時に配付する奨学金の案内でお知らせします。

入学金の納入猶予について

入学金の納入猶予については、高等学校等を通じて修学支援新制度に予約採用の申込みを行い、給付型奨学金の候補者として決定された方を対象とします。
決定された方は、入学手続の際に「大学等奨学生採用候補者決定通知」を提出していただく必要があります。
予約採用の申込方法等は、所属の高等学校等にご確認ください。

○参考ウェブサイト
文部科学省ホームページ
https://www.mext.go.jp/kyufu/

E 入試における感染防止対策について

「2027年度一般選抜」（2026年度に実施する試験）における感染防止対策については、本学ホームページ（https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/）をご覧ください。

連絡先
【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群】
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係　TEL 093－964－4022
【国際環境工学部】
北九州市立大学 学務課入学試験係　TEL 093－695－3340
※試験当日は、TEL 093-964-4022 に連絡してください。

F その他

1 教育目的

外国語学部：外国語の高度な運用能力を持ち、専攻する地域の文化・社会・歴史・政治経済と国際関係に関する専門的知識を有し、国際社会で活躍できるグローバルな人材の養成

英米学科	中国学科	国際関係学科
高度な英語運用能力と、英米および英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	高度かつ実践的な中国語運用能力と、中国及び中国語圏の言語・文学・文化・歴史・経済などに関する専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	国際関係と地域研究の発展的な知識と、英語を中心に優れた語学力を兼ね備え、グローバルな視野に立って活躍できる国際人の養成

経済学部：幅広い教養と経済・経営情報に関する基礎及び応用分野の知識を持ち、社会や経済・経営の諸問題を論理的に分析し解決する能力を兼ね備えた人材の養成

経済学科	経営情報学科
豊かな教養と経済学の基礎及び応用分野に関する知識を兼ね備え、理論と実践を統合することにより、社会や経済の諸問題を解決できる人材の養成	幅広い教養を身につけ、経営学を理解し、情報科学や会計学の手法も駆使することで、さまざまな企業経営や社会に関する諸問題を解決できる人材の養成

文学部：自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材、または、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

比較文化学科	人間関係学科
日本文化と欧米文化をはじめとする異文化への深い認識を持ち、自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材の養成	人間の存在、行動、発達を社会環境や自然環境などとの関連において学際的、総合的に把握し、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

法学部：社会における様々な問題を発見・分析する能力を備え、法的思考力や政策立案・評価能力を駆使することにより、弾力的で総合的な判断に基づいて問題を解決し、社会の発展に貢献することができる人材の養成

法律学科	政策科学科
法理論の深い理解、広い知識及び総合的判断力を持ち、法現象に対して弾力的に対処し得る法的思考力・処理能力を備えた人材の養成	地域社会、国際社会などにおける様々な問題を発見し分析する能力、解決策を立案する能力、さらに評価能力を有した人材の養成

地域創生学群：幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

地域創生学類
幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

国際環境工学部：環境問題に対する深い認識（環境マインド）を持ち、工学の多様化に対応できる基礎素養と工学的専門知識ならびに問題解決能力を備え、社会の持続的発展に貢献できる人材の養成

環境化学工学科	機械システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
化学に関する基礎学力と実践力を身につけ、物質変換を含む物質の流れを制御することにより物質の生産、エネルギー・資源循環、環境改善を実現する人材の養成	機械システム技術者として、環境に配慮したものづくりで、「豊かな社会」と「持続可能な社会」との両立に貢献できる人材の養成	建築デザイン及び建築技術に関する基礎学力と実践力を身に付け、地球環境に配慮した建築・都市の創造と保全に貢献できるアーキテクト・マインドと技術者倫理を理解した人材の養成	生物・生態・環境の本質を理解し、活用するための基礎学力と実践力を身につけるとともに、バイオテクノロジーやエコテクノロジーを活用した技術開発力や環境問題への対応能力を持つ人材の養成

情報イノベーション学部：急速に発展・変化する情報技術分野や情報社会に柔軟に対応し、自己学習を継続しながら新たな挑戦を続ける主体性を備えるとともに、国際的な視座と多分野にわたる広範な知識、科学技術の倫理観も兼ね備え、持続可能な社会の実現に貢献するリーダーシップを発揮できる人材の養成

情報エンジニアリング学科	共創社会システム学科
情報工学の理論と技術を基盤に、数理的思考や計算機技術の応用力、さらに人工知能（AI）を含む知能情報処理の実践的スキルを育成し、情報技術を通じて実社会の課題解決に貢献できる人材の養成	情報工学の理論と技術を基盤に、社会科学等多分野の知見と融合させながら、持続可能な社会の構築や地域課題の解決に向けて実践的に貢献できる人材の養成

全学アドミッション・ポリシー

北九州市立大学は、次のような人を求めます。

（求める学生像）
北九州市立大学は、強い意志と希望を持って、地域と共に発展し、世界（地球）の持続可能な社会、豊かな未来に向かって、「知の創造」を目指します。このような本学の目標に共感し、学修に臨みたいと考えるチャレンジ精神に溢れた人を求めます。

		求める能力
学力の3要素	知識・技能	・学修を始めるに当たって、必要な知識と技能を備えている。
	思考力・判断力・表現力等の能力	・課題を深く思考して、合理的に判断し、自分の考えを分かりやすく的確に表現することができる。
	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	・主体的に、多様な人々とコミュニケーションを図り、他者の考えを理解できる。 ・他者との協働を通して、多様な考えを吸収し、自分を高めようとする意欲を持っている。

外国語学部英米学科

（求める学生像）
〇世界の文化や情勢、社会、経済に高い関心を持ち、世界的な視野を持って意欲的に学び、自ら情報発信にも積極的な人
〇英語による高度なコミュニケーション能力の獲得を目指し、積極的に努力する人
〇国際社会での活動に熱心に取り組み、言語・文化・ビジネスの領域を中心にキャリア形成を図ろうとする意欲を有した人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・英語および英語圏の文化・社会・ビジネス分野について学ぶために必要な幅広い基礎学力を身につけている。	・英語圏を中心に世界の文化・社会について英語で自分の考えを述べるために必要となる思考力・判断力・表現力を身につけている。	・異文化圏の人々と積極的に交流・協働し、相互理解を深め新しい価値の創造を目指す姿勢を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	外国語：英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	〇	〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	小論文		〇	

外国語学部中国学科

（求める学生像）

〇英語以外の新しい言語を学ぶ意欲を持ち、その修得に挑戦しようとする人
〇多様な文化をもつ中国・アジア社会に関心を持ち、グローバル社会の多様性や複雑性をより深く理解したい人
〇修得した中国語や身につけた知識を活かして、アジア圏を中心に国際社会で活躍したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・入学後の修学に必要な幅広い基礎的な知識・技能を備えている。 ・英語に関して、基礎的な読解力、表現力を備えている。 ・外国語を修得する素養を備えている。	・文章を読んで、その内容について、論理的に、思考・判断し、自分の考えを分かりやすく表現する力を備えている。 ・問いや質問の内容を理解・判断し、自分の考えを分かりやすく明確に表現する力を備えている。	・積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の考えを理解しようとする姿勢を持っている。 ・ともに学び合うことで自分自身を向上させようとする姿勢を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	外国語：英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	〇	〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	面接		〇	〇

外国語学部国際関係学科

（求める学生像）

〇国際関係の分野に高い関心を持ち、国際社会の諸相を多角的に深く理解したい人
〇英語および中国語・朝鮮語などを用いてグローバル化した社会での活躍を目指す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・英語などの外国語における基礎的な読解力、表現力および実践的運用能力を備えている。 ・国際関係に関する文章を理解し得る基礎的な読解力および知識を備えている。	・国際関係を学ぶ上で必要な論理的な思考力・判断力を備えている。 ・自分の考えを他者に明確に伝える表現力を備えている。	・国際関係に対する問題関心や学習意欲を持っている。 ・文化的多様性に配慮しながら他者と円滑にコミュニケーションを図り、協力して目標を達成する意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	外国語：英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	〇	〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	面接		〇	〇

経済学部

（求める学生像）

○「社会のメカニズム」に関心を持ち、その仕組みを理解したい人

○大学で専門分野として学んだ経済・経営に関する知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・経済・経営分野を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・経済・経営に関する仕組みや歴史を理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。	・社会問題を明敏に思考・判断し、解決するために必要な論理展開力を身につけている。 ・文章を読み、その内容と自らの考えを分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を備えている。	・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）又は数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C）	○	○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	小論文		○	

文学部比較文化学科

（求める学生像）

〇継続的かつ自主的に学ぶ姿勢を身につけており、多様な文化への好奇心が旺盛な人

〇異なる文化的背景を持つ人とのコミュニケーションに積極的な人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・多様な文化を学際的、総合的に研究するのに必要な基礎的な学力を持っている。	・文化に関する諸問題について、他者の考えを理解した上で自分の意見を論理的かつ的確に表現する力を持っている。	・多様な価値観や異なる文化的背景を尊重しつつ、他者と協働関係を築き、問題解決に臨む態度が身についている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	総合問題（現代文と英語の理解力、表現力、語彙力を問う）		〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	小論文（現代文の理解力、表現力を問う）		〇	

文学部人間関係学科

（求める学生像）

〇十分な基礎学力と継続的に学修に臨む姿勢を身につけており、人間関係を取り巻く事柄に対して高い問題意識を持っている人

〇真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求することに強い関心を持った人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・人間と社会や自然との関係について学際的、総合的に探究する学修を始めるに当たって、必要な基礎的な学力を持っている。	・人間関係の諸課題について他者の考えを参照しつつ、思考して自分の意見を構築し、それを的確に表現する力を持っている。	・多様な意見を尊重しつつ、包括的なコミュニケーションを通して協働的に物事を解決する態度を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	小論文		〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	集団討論			〇

法学部法律学科

（求める学生像）

〇日常生活における法的諸問題に高い関心を持ち、それらに対応できる知識や技能を修得したい人
〇広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
〇大学で学んだ知識や技能を社会生活における様々な場面で活かそうという意欲のある人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・法律学を学ぶ上で必要な幅広い基礎的な学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・社会における諸問題に対して自分の頭で論理的に思考・判断することができる。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	小論文（「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う）		〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	小論文（法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う）		〇	

法学部政策科学科

（求める学生像）

〇国や地域、国際社会の抱える様々な問題に関心を持ち、政治・政策を分析する能力を修得する意欲にあふれる人
〇広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
〇大学で得た知識や能力を様々な場面で活かし、広く市民社会・国際社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・政策科学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・国や地域における様々な問題に対して、論理的に思考・判断し、解決するために必要な能力を持っている。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	小論文（「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う）		〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	小論文（法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う）		〇	

地域創生学群地域創生学類

（求める学生像）

〇地域社会の諸問題に強い関心を持ち、探究心を持って主体的に行動し、学修する人

〇地域社会に対する責任感と使命感を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・情報や課題を理解するために必要な読解力や文章表現力を備えている。 ・複雑な地域課題の解決のために、特定の分野の基礎知識を身につけている。 ・地域創生を達成するために必要な卓越した技能を有している。	・相手の発言の意図や求められている事を的確に理解し、それに応じるために必要な表現力を身につけている。 ・地域創生に関する講義や文章を理解し、論理的にまとめる思考力を身につけている。	・地域で活動する上で必要となる他者とのコミュニケーション能力や、自ら主体的に関わろうとする意欲を持っている。 ・自らのアイディアや経験を地域創生に活かす上での明確なビジョンを持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	課題論文		○	
		集団討論			○
		活動・資格等実績申告書（志望理由書　1200字以内、調査書）	○		

国際環境工学部環境化学工学科

（求める学生像）

〇化学・エネルギー・環境に関心を持ち、その理解・応用の基礎となる知識・論理の修得を目指す人

〇大学で学んだ知識を活かし、大学院での高度な知識の修得や、化学・環境技術者としてより高い視点から活躍を志す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・化学・工学を学ぶ上で基礎となる理科・数学に関する知識を身につけている。 ・多分野が関連するエネルギー・環境の学修のため、人文・社会・自然科学を問わず高校までの学問を幅広く修得している。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・対象とする課題の本質を理解し、解決策を論理的に導き、それを他者に的確に伝える力を身につけている。	・化学・エネルギー・環境に強い関心を持ち、グローバルな視点で、積極的に学ぶ意欲と行動力を持っている。 ・他者との協働による課題解決を実現するためのコミュニケーション能力を身につけている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）		○	
		理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	理科（化学基礎、化学）		○	

国際環境工学部機械システム工学科

（求める学生像）

〇機械システム工学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
〇明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
〇国際的な視点から技術の発展に貢献する意欲を持っている人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・機械システム工学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・機械システム工学分野を学ぶために必要な思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・将来、機械工学を用いて様々な環境問題の解決に取り組む意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）		〇	
		理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	小論文		〇	

国際環境工学部建築デザイン学科

（求める学生像）

〇建築学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
〇明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
〇誇りある建築技術者となるために必要な責任感、倫理観を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・建築学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・高度な専門知識を有する建築技術者や一級建築士を目指す上での基盤となる理数系の素養を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・建築学分野の諸課題を理解し、その対策案をデザインする力を身につけるための思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・構造・意匠・材料・エネルギー等の多様な観点から建築について学ぼうとする姿勢を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）		〇	
		理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	面接 （調査書）		〇	〇

国際環境工学部生命工学科

（求める学生像）

〇バイオテクノロジー、生態系や地球環境の保全の分野で将来活躍したいという強い意欲を持っている人
〇生物・生体の機能を活用した新技術の創出を目指す意欲を持ち、生命科学に深い関心を持っている人
〇旺盛な知的好奇心と目的意識を有し、意欲的に国内外の環境問題の解決に取り組みたいと考える人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・人文・社会・自然科学・語学を問わず、幅広い知識を身につけている。 ・工学の基礎となる数学、物理、化学、生物などの基礎学力を身につけている。 ・日本語と英語のコミュニケーション能力を持っている。	・問題を理解・解析し、思考発展させる能力を身につけている。	・明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲を持っている。 ・将来は工学的見地から社会に貢献しようとする意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）		〇	
		理科（物理（物理基礎、物理）、化学（化学基礎、化学）、生物（生物基礎、生物）から２科目選択）		〇	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	面接 （調査書）		〇	〇

情報イノベーション学部

（求める学生像）

〇情報工学やデータサイエンス、AIの力を活用して、環境・エネルギー・社会の課題解決に主体的に取り組もうとする意欲を持つ人
〇多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造しようとする姿勢と、明確な目標に向けて努力を惜しまない向上心を持つ人
〇探究心とアントレプレナーシップを備え、変化を前向きに捉えながら、自らの学びと成長を継続できる人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「〇」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・情報工学、データサイエンス、AI技術などの専門分野を学ぶために必要な数学・情報に関する基礎的学力を有している。 ・社会課題や環境・エネルギー問題を理解するために必要な科学的・論理的リテラシーを備えている。 ・他者と協働するための基礎として、日本語および英語による基本的な読解・表現・情報収集能力を持っている。	・情報技術を活用して、課題を多面的かつ論理的に分析し、自ら考え、判断する力を持っている。 ・データや事実に基づいて、問題の本質を探り、創造的に解決策を構想できる思考力と表現力を備えている。 ・自分の考えを、多様な形式（文章・図表・プレゼンテーション等）で的確に伝える力を有している。	・社会や地域の課題に関心を持ち、自ら学び、自ら行動する意欲を有している。 ・他者の意見や価値観を尊重し、多様な立場の人々と協働しながら課題解決に取り組む姿勢を持っている。 ・新たな価値を創造するために、アントレプレナーシップやＰＢＬ活動に積極的に関与しようとする態度を備えている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	数学①、②から選択 数学①（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B（数列・統計的な推測）、数C（ベクトル）） 数学②（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B（数列）、数C（ベクトル・平面上の曲線と複素数平面））	〇	〇	
一般選抜（中期日程）	大学入学共通テスト		〇		
	個別テスト等	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B（数列）、数C（ベクトル））	〇	〇	

3　ディプロマ・ポリシー

基盤教育における学位授与方針

豊かな「知識」	・地域社会の課題や政策について、地域の文化・歴史、経済・産業等の魅力をふまえながら理解する力を身につけている。 ・生命や自然、環境問題の基礎を理解し、持続可能な環境共生社会の実現に向けて貢献する意識をもっている。 ・国際社会の諸問題を理解し、世界的な視野をもって行動できる力を身につけている。
知識を活用できる「技能」	・英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	・他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。

専門教育における学位授与方針

外国語学部

観点＼学科	英米学科	中国学科	国際関係学科
豊かな「知識」	・世界の文化的・社会的事象に関わる幅広い知識を基盤に、コアとなる「英語学・英語教育」「国際文化社会」「グローバルビジネス」のいずれかの専門分野に関する知識を体系的・総合的に身につけている。	・専門分野である中国語に関し、その運用に必要な知識、中国語圏の文学・文化・歴史・社会に関する知識を体系的に身につけている。	・国際政治経済やアジア太平洋地域の政治外交に関する社会科学の基礎知識を修得し、それをもとに個々の地域が持つ特性を理解している。
知識を活用できる「技能」	・英語の４技能（読む・聞く・話す・書く）の修得に加え、英米及び英語圏を中心に世界の文化・社会的な背景の理解のもと、国際社会で活躍するために必要な高度な英語を適切に運用できる能力を身につけている。	・中国語の４技能（読む・聞く・話す・書く）をバランス良く修得し、中国語圏の文化的背景への理解のもとで、中国語を適切に運用できる。	・国際関係論と地域研究の学修に関して、社会科学の立場から、必要な情報を収集・調査・分析することができるとともに、英語をはじめ、東アジアで活躍するための中国語または朝鮮語の基礎語学力を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・流動的に変化している国際情勢や世界の文化・社会の諸問題に関する学修を通して、グローバルな視点から事象を多面的に捉え、学際的・複眼的に思考して解決策を探求し、多様な人種や文化を背景に持つ社会の中で、自分の意見を英語で明晰に表現することができる。	・変化が著しい中国語圏をはじめとする諸地域の文化や社会情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に思考することができ、自分の考えや判断を表現することができる。	・国際情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的な思考・判断により、解決策を提案できる応用力を持つとともに、専門的見地から自分の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・広く国際的な視野を身につけるための学修を通して、多種多様な国籍の文化や言語を背景に持つ他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。	・多様な民族や文化を包摂する中国語圏に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。	・国際的な観点から行う地域の特性に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」	・英語や異文化に関する学修を通して、文化・社会への関心とキャリア意識を持ち続け、広い視野を持つ国際人として、主体的に行動できる。	・中国語の運用能力や中国語圏の文化・社会に関する学修を通して、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる。	・国際社会に関する学修を通して、国際関係と地域研究への関心を持ち続け、グローバル社会の一員として貢献できる姿勢を身につけている。

経済学部

観点＼学科	経済学科	経営情報学科
豊かな「知識」	・専門分野である経済学の基礎知識を修得し、それを基にした応用知識を体系的・総合的に身につけている。	・専門分野である「経営学」、「会計学」、「情報科学」の基礎知識および応用知識を体系的に身につけ、企業をはじめとする様々な組織の経営活動について理解している。
知識を活用できる「技能」	・経済学の専門知識を活かして、問題解決に向けて、必要とされる情報を自ら収集するとともに、「経済モデル」の展開と「データ」の分析を行うスキルを身につけている。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通じて、経営に関わる諸問題の解決に必要とされる「企業」、「財務・会計」、「情報システム」の分析を行うスキルを身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・経済学の知識と分析スキルにより、社会・経済の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の知識と分析スキルにより、様々な組織を取り巻く経営環境の変化や社会の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・経済学の学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して経済や社会の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	・様々な組織の経営に関する学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して組織経営の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」	・経済学の応用分野や地域経済に関する学修を通して、社会・経済への関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通して、様々な組織の経営活動に関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。

文学部

観点＼学科	比較文化学科	人間関係学科
豊かな「知識」	・文化資源の保存・活用及び多様な文化の交流・共生について幅広い知識を身につけているとともに、文学、思想、言語、歴史、美術、宗教、生活文化、メディアなどの自らの専門分野について体系的に理解している。	・人間関係及び人間と社会や自然との関係を解明するための基礎的な知識や概念、法則を体系的に身につけ、学修によって得られた知識と現実の人間関係にかかわる課題とのつながりを理解している。
知識を活用できる「技能」	・英語もしくはそれ以外の諸言語を用いて基本的なコミュニケーションができるとともに、専門書など必要な文献を読みこなすことができ、自らの専門分野についての研究方法を身につけている。	・人間関係の諸原理の解明に関し、必要な調査や実験を実施するための基礎的な方法論をはじめ、資料やデータを分析して結論を導くための技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・文化資源・文化共生の課題について、論理的に思考し判断する力と、自文化を論理的かつ的確に発信する力を身につけている。	・人間関係の諸原理を解明する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に考察し、専門的な見地から自らの考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・文化資源・文化共生の学修を通して、地域社会におけるつながりを創り出す力と、他者と協働し、組織や社会の活動を促進する力を身につけている。	・人間関係の諸課題に関する学術的研究を通して、多様な考えを持つ他者と包括的な議論を行いながら、協働して活動できる力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」	・文化資源・文化共生への理解を通して、地域・国際社会における文化の振興と交流に貢献する姿勢を身につけている。	・人間関係の諸課題について問題意識を持ち続け、学修成果である人間関係及び人間と社会や自然との関係を理解し、実践につなげる姿勢を身につけている。

法学部

観点＼学科	法律学科	政策科学科
豊かな「知識」	・社会において生起する様々な法的問題を読み解くための法学に関する知識を体系的に身につけている。	・21 世紀の市民として、「政治・民主主義」の基礎知識及びまちづくり、環境政策、社会政策、都市政策などの公共政策分野の課題解決に必要な専門的知識を体系的・包括的に身につけている。
知識を活用できる「技能」	・法的な問題点を抽出し、その解決に必要となる情報を自ら収集・分析・整理するとともに、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている。	・政策科学の学修を通じて、政策の立案に向けて必要なデータを読み解くとともに、フィールドワークや統計処理などの手法により調査・分析を行うことができる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・法学に関する様々な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行い、そのプロセスや結論を口頭や文章で論理的に表現することができる。	・社会が抱える問題への政策を考察する学修を通じて、個別・具体的な課題を発見し、社会科学の観点からの論理的な分析をもとに、様々な観点から物事を捉えた独自の政策を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・法学の学修を通じて、異なる意見を持つ他者との議論を行いながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	・公共政策課題の解決に向けた政策に関する学修を通じて、幅広い分野と交流して異なる意見をもつ他者と議論を行いながら、建設的・効果的にコミュニケーションを取って協働することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	・法学の学修を通じて、社会において生起する様々な法的問題に関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている。	・公共政策に関する学修を通じて、社会が抱える問題を政策的に考える意欲を持ち続け、より良い市民社会の実現に向けて行動できる姿勢を持っている。

地域創生学群

観点＼学類	地域創生学類
豊かな「知識」	・地域の再生と創造に関する専門知識を地域との関わりの中で総合的に理解している。
知識を活用できる「技能」	・地域の再生と創造に関する専門知識と地域活動を効果的に推進するための技術を、実践的に活用できる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・多面的な視野から地域が抱える問題の本質に迫り、創造的な思考と論理的な判断による解決案を、多様な他者に適切に伝えることができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・地域社会の中で多様な他者との豊かな関係を築くことができ、地域の再生と創造に向けて協力的に活動を進めることができる。
社会で生きる「自律的行動力」	・地域創生学の学修を通じて、地域の現状に関心を持ち続けながら、地域と社会の発展に向けて自律的に行動できる力を有している。

国際環境工学部

観点＼学科	環境化学工学科	機械システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
豊かな「知識」	・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、化学に関する専門知識と実践力を身につけ、それらの知識を化学工業、資源・エネルギー問題、環境問題と関連づけて理解している。	・数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、ものづくりに必要な機械工学の基本的知識・基礎的学力を有し、環境問題をふまえた広い視野を持って重要な概念や知識を体系的に理解している。	・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、地球環境を視野に入れた総合的な視点をふまえた専門知識を有し、建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として体系的に理解している。	・生物・化学・数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、生命科学、物質科学、環境科学を基本とした専門的知識を総合的に身につけている。
知識を活用できる「技能」	・化学分野の技術開発や環境問題の把握・解決に必要とされる基本的な実験技術、データ整理、科学的な解析能力を身につけている。	・機械システム分野の技術開発に必要とされる機械工学、機械力学、材料力学、熱力学、流体力学、制御・システム工学などの基本的技能を身につけている。	・建築学分野の技術開発に必要とされる、地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。	・生命工学分野に関する生物・化学・物理実験・調査、数理解析などを行うことができ、結果をふまえて、生態系や環境、社会に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・環境化学工学分野の学修を通じて、自ら得たデータや解析結果にもとづき化学の視点から論理的に思考・判断することによって、問題解決法を生み出す応用力を持つとともに、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・環境問題を考慮した上での機械システム技術の学修を通じて、新たな機械工学上の課題について、環境への負荷軽減や広い視野から諸課題を捉えて思考・判断し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・建築学分野に関する学修を通じて、国際的及び持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・生命工学分野に関する学修を通じ、生命や環境における様々な課題について、生物・生態系が持つ高度な仕組みを活用した新技術や環境管理方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・環境化学工学分野の実験・実習科目やインターンシップ、卒業研究などを通じて、地域や組織での活動において自分の考えを相手に効果的に伝える技術や、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・機械システム分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・建築学分野の立場から卒業研究・卒業設計、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・生命工学分野の立場から演習・実験や卒業研究、フィールドワーク、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」	・環境化学工学分野の学修を通じて、化学技術者としての社会的責任感と倫理観を身につけ、地球規模で抱えている資源・エネルギー問題や環境問題への関心を持ち続け、問題解決に向けた意欲と行動力を有している。	・機械システム分野の学修を通じて、各方面で自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえた社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的に行動する力を身につけている。	・持続可能な国際社会の形成に貢献できる「アーキテクト・マインド」を修得する建築学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。	・生命工学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。

情報イノベーション学部

観点＼学部・学科	情報イノベーション学部	情報エンジニアリング学科	共創社会システム学科
豊かな「知識」	・情報工学、データサイエンス、人工知能(AI)技術の理論を理解し、環境・エネルギー等の社会課題への応用を含めて、分野横断的な知識を体系的に修得している。	・数学、統計学、情報理論、プログラミングなどの基礎に基づき、情報の構造、処理、伝達、制御に関する理論と方法を体系的かつ実践的に理解するとともに、技術の進展や多様な応用領域に柔軟に対応できる基盤的な知識を備えている。	・統計学や情報工学などを活かしつつ、経済・経営・心理・環境といった領域の視点から社会課題について考えるための基礎知識と、資源循環などの社会システムの設計・評価といった応用領域を学び、社会と情報技術の関係を俯瞰的に理解している。
知識を活用できる「技能」	・データ収集・分析・可視化、システム開発などを通じて、情報技術を社会課題の解決に実装・応用するための基本的な技能を身につけている。	・情報システムの設計・開発から、データの利活用、人と機械の連携、ハードウェアとソフトウェアの統合的な制御に至るまで、情報技術を実社会に応用するための基礎的かつ実践的な技能を身につけている。	・データサイエンスや人工知能(AI)の活用を通じて社会課題を定量的に捉え、社会構造を論理的に整理・分析し、情報倫理に配慮した新たなテクノロジーを応用するための実践的技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・実社会の複雑な課題に対して、デザイン思考を活用し、データに基づいて論理的に分析・判断したうえで、創造的かつ持続可能な価値を構想・表現できる。	・情報技術に関する学修を基盤に、実社会の課題に対して人間中心・社会価値志向の視点から創造的に思考し、データや技術的根拠に基づいて論理的に判断し、課題解決に資する製品・システム・サービスのかたちで具体的に表現できる。	・データに基づいて社会課題を論理的に抽出し、デザイン思考を活用して持続可能な価値の創出を見据え、自らの考えを創造的に表現できる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・異分野・異文化との協働や地域との連携において、多様な視点を整理・統合し、課題解決に向けた提案や発信を行うことで、持続可能な社会づくりやGX（Green Transformation）の実現に貢献できる。	・異分野・異文化との連携において、情報技術を駆使しながら協働し、グローバルな視点と情報倫理を踏まえ、多様な立場を尊重しながら、自己の考えを適切に発信できる。	・社会的な課題に対して、異分野・異文化と連携しつつ、情報技術を駆使しながら協働し、地域とグローバルな視点および情報倫理を踏まえ、多様な立場を尊重しながら、自己の考えを適切に発信できる。
社会で生きる「自律的行動力」	・変化の激しい社会・技術環境に柔軟に対応し、自律的に学び続ける姿勢を持ち、データとAIを活用して持続可能な未来を構築するための社会実装力を備えている。	・情報技術の進展に柔軟に対応し、自己学習を継続しながら、持続可能な社会の構築に向けた探究心と社会実装力を身につけている。	・社会や環境の変化を捉えて自律的に学び、課題を主体的に設定し、理論と実践の往還を通じて持続可能な社会や地域との共創に貢献する力を身につけている。

4　入試情報の成績開示について

北九州市立大学では、以下の要領で入学試験個人情報の開示を行います。

⑴　開示する入試個人情報の範囲

開示する 2027年度の入試情報の範囲は次のとおりです。

①　試験結果　個別テスト等の科目別得点及び合計点
②　総得点
③　出願書類
④　調査書（ただし、「総合的な探究（学習）の時間の内容・評価」、「指導上参考となる諸事項」及び「備考」は除く）

⑵　開示請求の方法

以下の書類を揃えて受付窓口に申請してください。**ただし、請求ができるのは受験生本人のみです。**

①　窓口で請求する場合

- **北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書**
- **返信用封筒**（長形３号）　切手 460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。
- **本人を証明するもの**　**本人を確認できる写真入りの証明書（原本）又は本学受験票（原本）**を持参してください。
  （証明書の例：大学入学共通テストの受験票、学生証、運転免許証等）

②　郵便で請求する場合

- **北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書**
- **返信用封筒**（長形３号）　切手 460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。
- **本学受験票（Ａ４用紙にコピー）**
- **本人を証明するもの**　**本人を確認できる写真入りの証明書（Ａ４用紙にコピー）**
  （証明書の例：大学入学共通テストの受験票、学生証、運転免許証等）
  ＊ただし、写真が鮮明なものに限る

※　受験時と氏名が異なっている場合は戸籍謄本等も同封（窓口申請の場合は持参）してください。
※　添付書類に不備がある場合は、受理できません。

⑶　入試情報の開示（通知）方法

①　試験結果の開示の場合
・請求後、返信用封筒に成績通知書を入れて、簡易書留で送付します。**（１ヶ月程度必要です。）**

②　出願書類・調査書の開示の場合
・受付窓口での閲覧のみとなります。（コピー不可）
・申請受付後に本人宛に送付する成績通知書を受付窓口に持参してください。
・閲覧の際は、成績通知書の他に本人を証明するものを持参してください。
（証明書の例：大学入学共通テストの受験票、学生証、運転免許証等）

⑷　開示請求書（様式）について

北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書は、2027年４月に本学ホームページに掲載します。

⑸　開示請求の受付期間等

受付期間　　2027年５月６日（木）～５月31日（月）（土、日、祝日除く）
閲覧期間　　2027年６月１日（火）～６月30日（水）（土、日、祝日除く）
受付・閲覧時間　平日９：00～16：00（12：15～13：15を除く）

〈受付窓口・お問い合わせ先〉
【外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部、地域創生学群】
〒802-8577　北九州市小倉南区北方四丁目２番１号　TEL 093-964-4022
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係
【国際環境工学部】
〒808-0135　北九州市若松区ひびきの１番１号　TEL 093-695-3340
北九州市立大学 学務課入学試験係

5　個人情報の取扱いについて

北九州市立大学は出願に関して本学に提供された個人情報について、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき、適切に取り扱います。

【個人情報の利用目的について】

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

⑴志願者の氏名、生年月日、連絡先、成績などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。

⑵合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

⑶国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。

【個人データの取扱いの委託について】

本学は、利用目的の範囲内で、個人情報の取扱い業務の一部又は全部を外部に委託することがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。

6　個人用ノートパソコンの必携について

本学では、授業、履修登録、レポートの作成・提出、教員や大学からの連絡等でパソコンを活用しています。また、個人パソコンを使っての授業も予定されていますので、本学に入学の際は個人用ノートパソコンをご準備（必携）いただきますよう、あらかじめご案内いたします。

なお、ノートパソコンに必要な機能や推奨スペックなど詳細につきましては、今後、本学ホームページ等でご案内いたします。

＜お問い合わせ先＞

【外国語・経済・文・法学部、地域創生学群】

北九州市立大学 学術振興課教務第一係　TEL：093-964-4036

【情報イノベーション学部】

北九州市立大学 新学部設置準備課　TEL：093-964-4035

【国際環境工学部】

北九州市立大学 学務課教務係　TEL：093-695-3330

7　情報イノベーション学部の設置について

本学では、2027年４月、新たに「情報イノベーション学部」を設置します。

詳細は、随時本学ホームページ等で公表します。

学部名称	**情報イノベーション学部**
学科名称	**情報エンジニアリング学科（入学定員：68名）** **共創社会システム学科（入学定員：50名）**
入学定員	**118名（収容定員472名）**
学位	**学士（情報工学）**

※2027年度の授業は北方キャンパスで実施します。

※情報イノベーション学部のキャンパスとなる旦過キャンパスは2028年度の供用開始を予定しています。

様式１

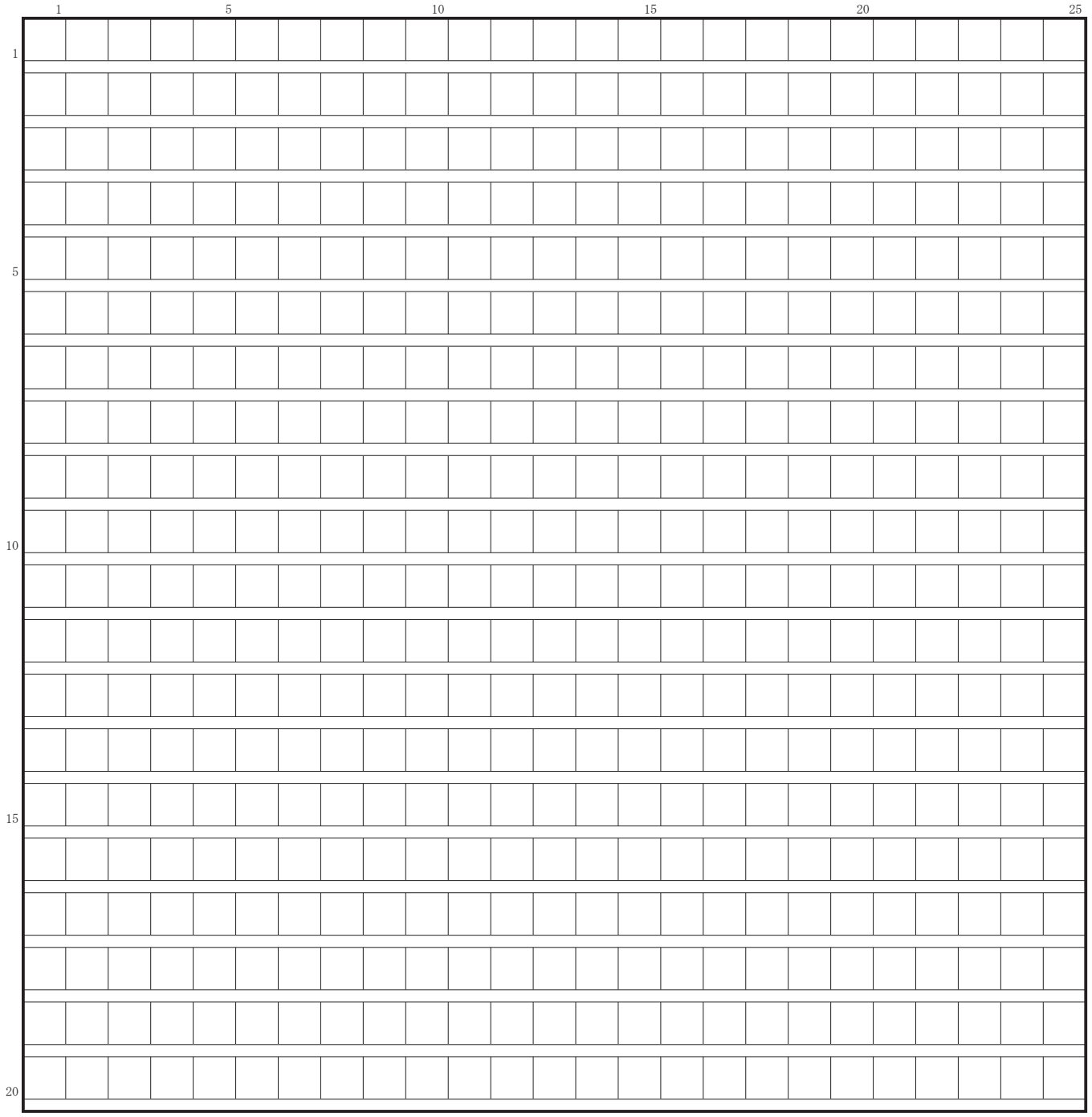
2027年度一般選抜前期日程志望理由書（地域創生学群用）

フリガナ	
氏　　名	

※

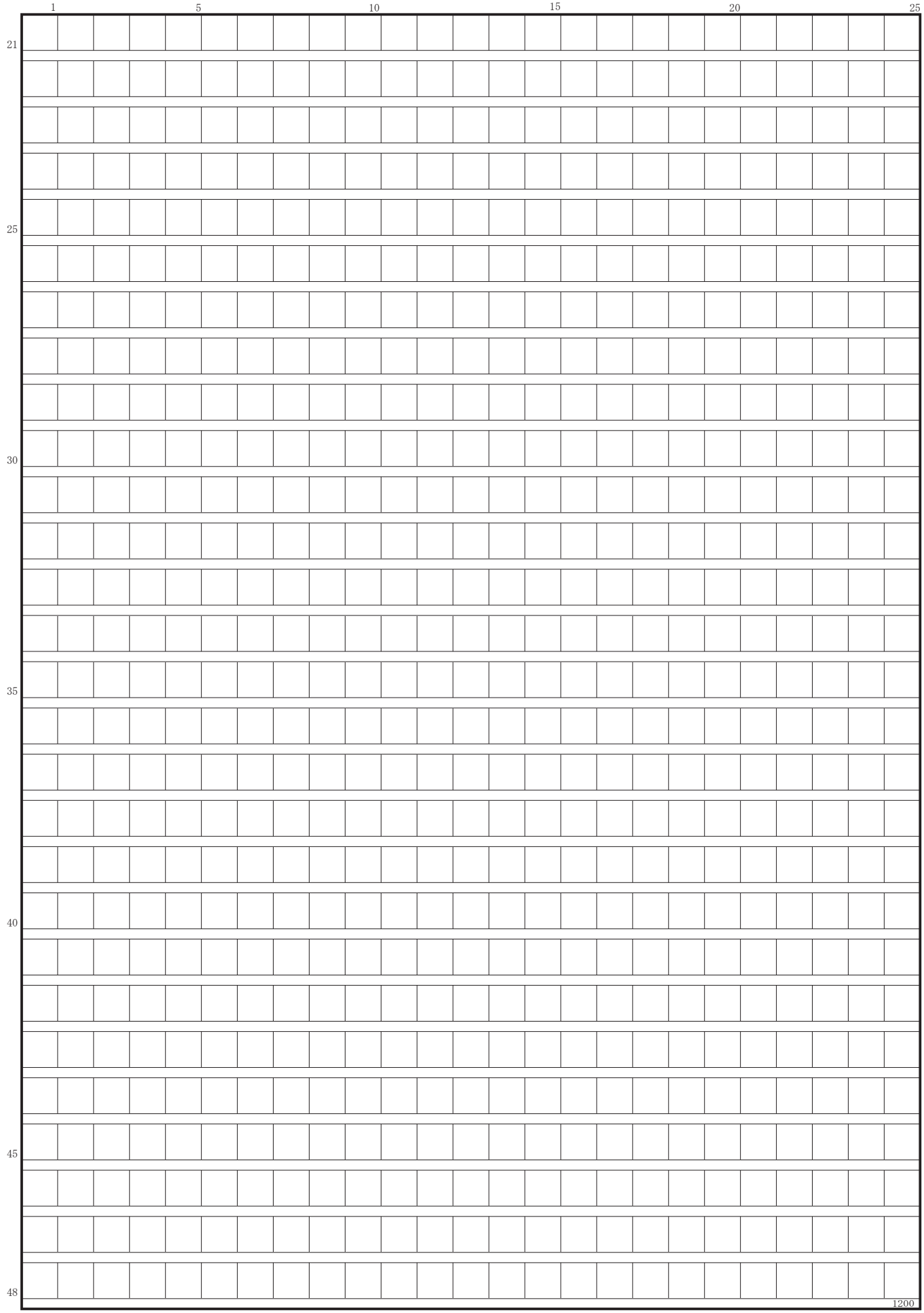
※印欄は記入しない

地域創生学群を志望した理由を1200字以内で自筆で記入してください。（横書きで記入。鉛筆不可）



裏面へ

表面から



必ず両面印刷すること

様式２

活動・資格等実績申告書（地域創生学群用）

【活動】

活動分野			
具体的な活動			
団体名			
活動期間	年　月から　年　月まで	年　月から　年　月まで	年　月から　年　月まで
役職			
主な実績			

【資格】

資　格　名	資格取得日
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日

（注）１　本書は、**黒のボールペンを使用し**、自筆、楷書で記入してください。
２　**記入上の注意や記入例をよく読み、指示に従って記入**してください。
３　**証明する書類の添付がない場合は、評価対象になりません。**
４　**虚偽の記載事項**があった場合、**入学許可後でも合格を取り消します。**
５　**記入事項がない場合も、署名の上、必ず提出**してください。

上記申告内容に相違ないことを誓約します。

誓約年月日　　年　　月　　日　　志願者署名

記入上の注意

１　活動・資格等の実績の対象

当申告書の対象となるのは、**高校生は在学中、その他は直近３～４年**の活動・資格等の実績です。
活動、資格を両方申告する場合は、同じ申告書に記入してください。

２　活動

(1) 活動分野

- 活動分野は、「生徒会活動」「スポーツ」「文化芸術」「社会活動」「その他」から選んで記入してください。
- 複数欄があるので、複数の活動分野の実績がある場合、**最大３つまで**記入してください。
  ただし「社会活動」を除く活動分野は各１つ記入可能とし、「社会活動」は２つまで記入可能とします。
  例）生徒会副会長とサッカー部の実績がある場合は、「生徒会活動」と「スポーツ」をそれぞれ記入。

(2) 具体的な活動

- 上記(1)で選択した分野の中で、評価してほしい具体的な活動を各１種類記入してください。
  例）活動分野と具体的な活動

活動分野	具体的な活動
生徒会活動	生徒会活動
スポーツ	野球、サッカー、テニス、バドミントン、卓球など
文化芸術	吹奏楽、絵画、演劇、書道、放送、英語弁論など
社会活動	ボランティア活動、国際交流活動、地域活性化活動など

(3) 団体名及び活動期間

- 所属している団体がある場合は、その団体名を記入してください。
- 特定の団体に所属していない場合は、「所属団体なし」と記入してください。
- 上記(2)に記入した活動を実際に行っていた期間を西暦で記入してください。

(4) 役職

- 上記(3)の団体・活動期間で志願者が就いた最も高い役職を記入してください。
  例）生徒会　運動委員長、テニス部　副部長、吹奏楽　パートリーダー　など
- 役職がなければ、「役職なし」と記入してください。

(5) 主な実績

- 上記(2)に記入した活動の中で、評価してほしい実績を**最大３つまで箇条書き**で記入してください。
- 団体活動の場合は、ポジション、パート、役割などを簡単に記入してください。

※　実績の証明書類

- 上記(5)に記入した実績について客観的に証明できる書類のコピーを添付してください。
- 証明書類は、**すべてＡ４サイズに統一して左上クリップどめで提出してください。**
  （Ａ４サイズを超える場合は、縮小してください）
- スポーツ分野や文化芸術分野の場合は、大会順位や受賞実績の証明書類（賞状や新聞の切り抜きなど）のコピーを添付してください。団体で参加し大会順位や受賞実績に団体名しか記入されていない場合は、学校長や所属する団体の長の証明書（注）を追加添付してください。
- 社会活動分野などで大会順位や受賞実績がない活動の場合も学校長や所属する団体の長などの証明書（注）を添付してください。

（注）　証明書の様式は自由ですが、本人が参加していたことと、本人の活動内容がどのようなものであったかが分かるような証明書にしてください。（証明者が証明書に署名捺印のこと）

３　資格

- 資格は最大３つまで記入してください。
- 資格取得日は西暦で記入してください。
- 同一の資格に関しては最上級のものを一つだけ記入してください。
  例）実用英語技能検定の２級と準１級を取得している場合、準１級のみを記入

※　資格の証明書類
記入した資格は証明書のコピーを添付してください。

活動の記入例

活動分野	生徒会活動
具体的な活動	生徒会活動
団体名	○○高等学校生徒会
活動期間	20xx年　10月から　　20zz年　9月まで
役職	書記
主な実績	① 20yy年10月から20zz年9月　生徒会書記 ② 20xx年10月から20yy年9月　体育委員長

活動分野	スポーツ
具体的な活動	野球
団体名	○○高等学校硬式野球部
活動期間	20xx年　4月から　　20zz年　9月まで
役職	副部長
主な実績	① 20zz年7月　第×回全国高等学校野球選手権福岡県大会　ベスト８　ポジション　ショート　レギュラーメンバー ② 20zz年4月　第○回北九州市長杯　ベスト４　ポジション　ショート　レギュラーメンバー ③ 20xx年10月　第●回九州地区高校野球福岡大会　ベスト８　ベンチ入りメンバー　３回戦に代打で出場

活動分野	文化芸術
具体的な活動	吹奏楽
団体名	○○高等学校吹奏楽部
活動期間	20xx年　4月から　　20zz年　9月まで
役職	パートリーダー
主な実績	① 20zz年8月　第×回九州吹奏楽コンクール　銀賞 ② 20zz年7月　第●回福岡県吹奏楽コンクール　金賞 ③ 20yy年11月　○年度全国高等学校文化連盟吹奏楽部門福岡県大会　銀賞

活動分野	社会活動
具体的な活動	ボランティア活動
団体名	所属団体なし
活動期間	20xx年　4月から　　20zz年　9月まで
役職	役職なし
主な実績	① 20yy年7月～20zz年9月　○○介護老人ホームでのボランティア活動 ② 20xx年4月～20zz年3月　○市まちづくりプロジェクトの参画

活動分野	社会活動
具体的な活動	地域課題解決型フィールドワーク
団体名	○○高等学校「駅前違法駐輪バスターズ」チーム
活動期間	20xx年　4月から　　20zz年　9月まで
役職	市役所や地域の方との交渉役
主な実績	① 行政と毎月第3金曜日の違法駐輪の撤去作業活動 ② 駅前広場の掲示用違法駐輪防止啓発ポスターの作成 ③ 20zz年7月○○警察署より違法駐輪活動に関する感謝状の授与

資格の記入例

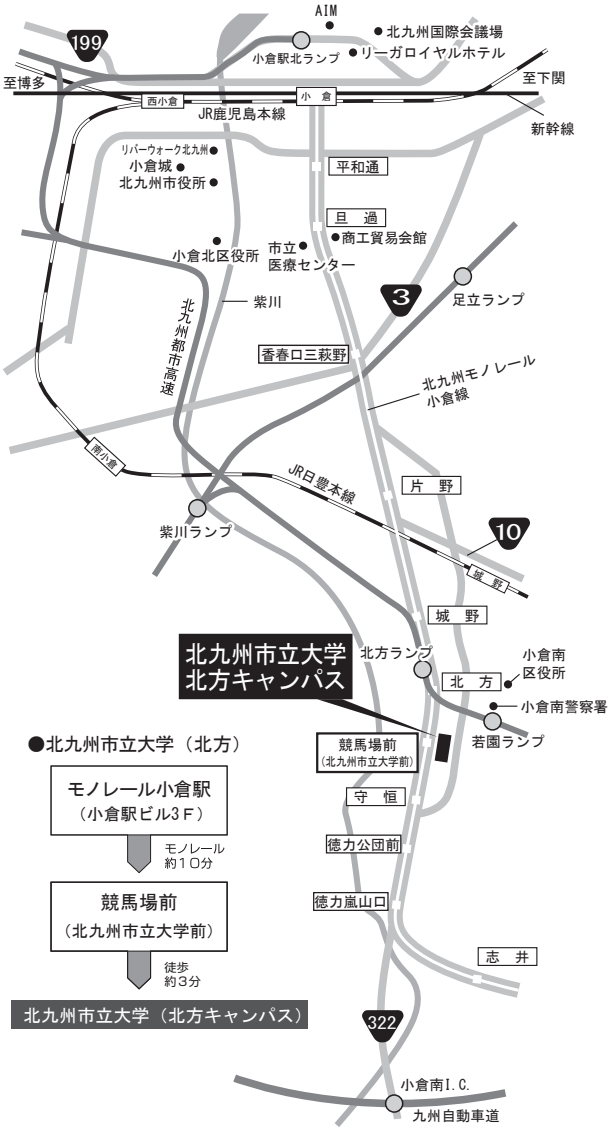
資格名	資格取得日
実用英語技能検定　準1級	20xx年　x月　x日
ITパスポート試験　合格	20yy年　y月　y日
文部科学省後援　情報検定情報システム試験 システムエンジニア認定	20zz年　z月　z日

試験会場

北九州市立大学 北方キャンパス試験場

【所在地：北九州市小倉南区北方四丁目２番１号】

一般選抜前期日程・中期日程・後期日程



※国際環境工学部も北方キャンパス試験場で試験を実施します。

〈お問い合わせ先〉

北方キャンパス
（外国語･経済･文･法・情報イノベーション学部､地域創生学群）
〒802-8577
北九州市小倉南区北方四丁目２番１号
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係
TEL　093-964-4022
E-Mail　nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

ひびきのキャンパス
（国際環境工学部）
〒808-0135
北九州市若松区ひびきの１番１号
北九州市立大学 学務課入学試験係
TEL　093-695-3340
E-Mail　nyushi@kitakyu-u.ac.jp

〔大学ホームページ https://www.kitakyu-u.ac.jp/〕

※　試験当日は北方キャンパス(TEL 093-964-4022)にお問い合わせください。

※　受験票は2月17日(水)から印刷可能です。インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷し、試験日当日に持参してください。



北九州市立大学 公式マスコットキャラクター
きたきゅっち